

# News Release

【報道関係各位】

2011年12月9日  
セント・ジュード・メディカル株式会社

## セント・ジュード・メディカル、慢性疼痛治療用Eon Cデュアル8 ニューロスティミュレータおよびスウィフトロックアンカーを発売

### 疼痛コントロールのための新しいオプションを提供

セント・ジュード・メディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ウィリアム・フィリップス)は、慢性疼痛治療に使用するEon Cデュアル8ニューロスティミュレータおよびスウィフトロックアンカーの発売を発表しました。

Eon Cは16極、定電流の製品で、当社従来品との比較において、電池(非充電)寿命が一層長くなりました。そのため、装置交換までの時間を長く確保でき、非充電式のシンプルな取り扱いを好む患者様に対し、選択肢を提供できるようになります。

Eon Cの特長は以下の通りです。

- ・セント・ジュード・メディカルの特許技術(NeuroDynamics™)により効率的に刺激を伝えます。
- ・高度なプログラム機能を搭載しているため、患者様自身が8つまでの疼痛部位に対する刺激の強度を同時もしくは別々に調整することができます。
- ・定電流回路が自動的に出力を調整するため、時間が経っても一定の治療を出力することができます。
- ・高出力、高周波数により、個々の患者様に適したテイラーメイドの治療を施すことができます。

「Eon Cは充電式神経刺激装置の使用に向かない患者様に適しています。大容量の電池を保有した非充電式の神経刺激装置を上市することによって個々の患者様のニーズに合わせたデバイス選択ができるようになります。」と、セント・ジュード・メディカル、ニューロモデュレーション事業部プレジデント、ロアン・ホアは述べています。

Eon Cに加えて、当社はスウィフトロックアンカーも上市します。本製品は、脊髄刺激療法に使用されるリードを効果的に固定するためのものです。リード固定の際、通常は縫合糸や医療用接着剤を用いますが、スウィフトロックアンカーを使用することでそれらは不要になります。そのため、リード植込みに要する時間を短縮でき、手技を効率的に行うことができます。使いやすいメカニカルロックが特長で、アンカーを90度回転させることでリードを固定できます。本製品はリード固定に伴う煩雑さやばらつきを抑えることができます。

スウィフトロックアンカーの特長は以下の通りです。

- ・直感的なロック機構で手に伝わる感触や、視認することでリード固定が確認できます。
- ・リードをしっかりと固定できるため、リードの位置ずれを少なくします。

- ・X線不透過の材質により、透視下で良好な視認性が確保できます。
- ・シンプルに回すだけの構造なので、リードの位置を変更することも簡単にできます。

「Eon Cは、Eon MiniやGenesisといった当社の神経刺激装置の製品ラインナップを強化するものです。また、スウィフトロックアンカーの上市により、そのようなリードを神経刺激装置で治療を受ける慢性疼痛患者様に確実に固定するためのアクセサリを提供でき、リードの位置ずれを軽減することができます。」と、当社社長、ウィリアム・フィリップスは述べています。

慢性疼痛は多くの場合十分に治療ができない可能性があり、また誤解の多い疾患です。世界中で何百万もの患者様が慢性疼痛に苦しんでいます。米国医学研究所によると、約1億1,600万人の方が米国で慢性疼痛を有し、その治療費は年間6,350億ドルにのぼり、仕事のための時間が失われています。

神経刺激療法(脊髄刺激療法)は、体幹部や両下肢、および術後腰痛等の慢性疼痛を治療するために使用されます。脊髄刺激療法では、痛みの信号が経路する脊髄に微弱な電気刺激を流すことで、痛みの信号を脳に伝わりにくくします。神経刺激装置は患者様の個々のニーズに合わせてプログラムすることができ、テーラーメイドの治療が可能になりました。脊髄刺激療法に関する患者様向けの詳細情報につきましては以下のURLをご参照ください。

邦文：<https://www.sjm.co.jp/general/nerve/index.html>

英文：<http://www.poweroveryourpain.com/>

### 30年に及ぶ最先端の神経刺激技術の探求

30年以上に渡り、セント・ジュード・メディカル(米国)ニューロモデュレーション事業部は慢性疼痛やその他の神経障害の治療のための新しい技術の開発を続けています。今日では、40カ国で7万5千名以上の患者様がセント・ジュード・メディカル(米国)製神経刺激システムの植え込みを受けています。セント・ジュード・メディカルは研究に注力し、様々な神経障害を治療するための新しい技術の開発を続けています。現在、パーキンソン病、本態性振戦、片頭痛などを対象として臨床試験が行われています。

### セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカル(米国)は世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にする事ができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、「カーディアック・リズム・マネジメント」、「心房細動」、「心臓血管」、および「ニューロモデュレーション(神経系)」の4つの分野に注力しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com/>をご覧ください。

### 将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、1995年私的証券訴訟改革法の意味する、リスクや不確実性等の将来に関する記述が含まれる場合があります。このような将来の見通しに関する記述には、潜在的な臨床的成功、見込まれる当局の承認や将来の製品発売、予測される収入、利益、収益、市場シェア等、セント・ジュード・メディカル(米国、以下SJM Inc.)の期待、計画および見通しが含まれます。SJM Inc.による記述は、経営陣の最新の予測に基づいたものであり、実際の

結果が将来に関する記述に記載された内容とは大きく異なるような特定のリスクや不確実性に影響されることがあります。これらのリスクや不確実性には、SJM Inc.の支配の及ばない市場の状況やその他の要因のほか、2011年1月1日に終了した当該年度に関する同社の10-K年度報告書および2011年7月2日に終了した四半期に関する同社の10-Q四半期報告書の「リスク要因および注意書き」の項に記載されたもの等、SECへのSJM Inc.の報告書に記載されたリスク要因やその他の注意書きが含まれます。SJM Inc.は、これらの記述を更新する意図はなく、またいかなる状況においてもそのような更新を特定の者に対して提供する義務を負うものではありません。

**【本件に関する報道関係者のお問合せ先】**

セント・ジュード・メディカル株式会社

PR マネージャー

山田 秀之

TEL 03-6255-5707 FAX 03-6255-5701